

|     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |
|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|
| 1.  | ④ | 11. | ④ | 21. | ③ | 31. | ① | 41. | ③ |
| 2.  | ① | 12. | ④ | 22. | ① | 32. | ③ | 42. | ① |
| 3.  | ③ | 13. | ④ | 23. | ④ | 33. | ① | 43. | ③ |
| 4.  | ④ | 14. | ③ | 24. | ③ | 34. | ② | 44. | ③ |
| 5.  | ① | 15. | ① | 25. | ② | 35. | ② | 45. | ② |
| 6.  | ③ | 16. | ③ | 26. | ③ | 36. | ④ | 46. | ① |
| 7.  | ② | 17. | ③ | 27. | ④ | 37. | ④ | 47. | ② |
| 8.  | ① | 18. | ① | 28. | ③ | 38. | ① | 48. | ② |
| 9.  | ④ | 19. | ① | 29. | ③ | 39. | ④ | 49. | ③ |
| 10. | ③ | 20. | ④ | 30. | ③ | 40. | ③ | 50. | ① |

1.

解答 ④

## 【解説】

正解は④「複雑な」です。**complex** は、多くの異なる部分から成り立っていて、理解したり説明したりするのが難しい状態を表す形容詞です。**a complex problem**（複雑な問題）のように使います。①「完全な」は **complete**、②「競争力のある」は **competitive**、③「思いやりのある」は **compassionate** が適切な単語です。

◆補足：**complex** の名詞形は **complexity**（複雑さ）です。対義語は **simple**（単純な）です。類義語の **complicated** も「複雑な」と訳されますが、**complicated** は不要な部分が多くて「ややこしい、込み入っている」というネガティブなニュアンスを含むことがあります。一方、**complex** は単に構造が「複合的で複雑」であることを客観的に示すことが多いです。名詞として **a sports complex**（複合スポーツ施設）のように「複合体、複合施設」を意味することもあります。

2.

解答 ①

## 【解説】

「著者、作者」という意味に最も近い英単語は①の **author** です。本や記事、脚本などを書いた人を指します。例えば、「その本の著者は誰ですか」は **Who is the author of the book?** と尋ねます。他の選択肢について、② **actor** は「俳優」、③ **editor** は「編集者」、④ **athlete** は「運動選手」です。

◆補足：**author** と関連の深い **authority**（権威）という単語を考えると、作品に対する第一人者（権威）が **author** であるとイメージできます。

3.

**解答** ③

**【解説】**

正解は③「昆虫」です。insect は、アリ、ハチ、チョウ、カブトムシなど、足が6本で体がいくつかの部分に分かれている小さな生き物、すなわち「昆虫」を指します。insect repellent（虫よけスプレー）は日常生活でよく使われる表現です。①「瞬間」は instant、②「本能」は instinct、④「侮辱」は insult がそれぞれ対応する単語です。

◆補足：insect の語源は、ラテン語の in-（中に）と secare（切る）に由来し、「(体に) 切れ込みが入ったもの」という意味です。これは昆虫の体が頭・胸・腹のように分かれていることから来ています。section（部分、区域）と同じ語源です。一般的な「虫」を指す場合は bug という単語がよく使われますが、bug は口語的で、クモやダンゴムシなど昆虫以外の小さな生き物も含むことがあります。insect はより生物学的に正確な用語です。

---

4.

**解答** ④

**【解説】**

英語表現「for one's own good」は、「(人) 自身のために、～のためを思って」という意味です。相手が嫌がることでも、その人の利益を考えて何かをしたり言ったりする際に使われます。one's の部分には my, your, his などの所有格が入ります。例えば、「君のためを思って言っているんだ」は I'm telling you this for your own good. と表現します。選択肢①「～の代わりに」は in place of ～、②「～のおかげで」は thanks to ～、③「～の観点から」は from the viewpoint of ～ などが対応します。

◆補足：この表現は、しばしば親が子供に、あるいは上司が部下に何かを諭すような、少し押し付けがましいニュアンスで使われることもあります。good は名詞で「利益、善」を意味し、own は「自分自身の」という強調の形容詞です。

---

5.

**解答** ①

**【解説】**

正解は①の get in one's way です。この表現は、物理的に「～の進路を妨げる」とことと、比喩的に「～の計画や成功の妨げになる」とことの両方を意味します。Please move your bicycle. It's getting in my way.（あなたの自転車を動かしてください。邪魔になっています）のように使います。② lose one's way は「道に迷う」、③ make one's way は「(苦労して) 進む」、④ give ~ a way は一般的な表現ではありません。

◆補足：get in one's way の one's の部分は、邪魔をされる人に合わせて my, your, his, her などによります。例えば、His pride got in his way of apologizing. (彼のプライドが、謝罪の邪魔をした) のように、物理的な障害物だけでなく、人の感情や性格が行動の妨げになる様子を描写することもできます。stand in one's way もほぼ同じ意味で使われます。

---

6.

解答 ③

【解説】

正解は③「ガソリン」です。gas は、物質の状態である「気体」や、調理・暖房に使う「ガス」を意味しますが、特にアメリカ英語の口語では、自動車の燃料である gasoline の略として「ガソリン」を指すことが非常に多いです。例文は「車にガソリンを入れなければならない」という意味です。①「気体」や②「ガス」も正しい意味ですが、この文脈では「ガソリン」が最も適切です。

◆補足：イギリス英語では、ガソリンは petrol というのが一般的です。gas station (ガソリンスタンド) という言葉はアメリカ英語に由来します。また、natural gas (天然ガス) や greenhouse gas (温室効果ガス) のように、科学的な文脈でも使われます。

---

7.

解答 ②

【解説】

英単語「active」は、「活動的な、活発な」という意味の形容詞です。人や物事がエネルギッシュに動いている様子を表します。例えば、「活動的な生活を送る」は lead an active life と表現します。選択肢①「退屈な」は boring、③「受動的な」は passive で、active の明確な対義語です。④「注意深い」は careful であり、いずれも文脈に合いません。

◆補足：active の名詞形は activity (活動) や action (行動) です。動詞形は activate (～を活性化させる) です。語源はラテン語の agere (行う、動かす) に由来し、actor (俳優) や agent (代理人) などと同じ語源を持ちます。「動いている」という核のイメージを持つと理解しやすいです。火山が「活動中」であることも "an active volcano" と表現するなど、人以外にも幅広く使われます。

---

8.

解答 ①

【解説】

英単語「immigration」は、「(外国からの) 移住、入国」という意味の名詞です。他の国から永住目的で入ってくることを指します。例えば、「入国管理局」は the immigration office と表現します。選択肢②「想像力」は imagination、③「模倣」は imitation です。④「(外国への) 移住」は emigration で、immigration とは方向が逆になります。

---

◆補足：immigration の動詞形は immigrate、移住者は immigrant となります。接頭辞 im- は in- と同じで「中へ」を意味します。一方、emigration の接頭辞 e- は ex- と同じで「外へ」を意味します。この接頭辞の違いで、入ってくるのか (in)、出ていくのか (out) を区別することができます。

---

9.

**解答** ④

**【解説】**

正解は④unlike です。この前置詞は、人や物が他のものと「違って、～と異なり」と、対比を強調する際に使われます。Unlike his father, he is not interested in politics. (彼の父親と違って、彼は政治に興味がない)。①besides は「～に加えて」、②without は「～なしで」、③despite は「～にもかかわらず」という意味です。

◆補足：unlike は「似ていない」という形容詞としても使われます。例：They are completely unlike. (彼らは全く似ていない)。like には前置詞「～のような」と動詞「～を好む」がありますが、unlike には動詞としての用法はない点に注意しましょう。

---

10.

**解答** ③

**【解説】**

正解は③「学期」です。semester は、特にアメリカなどの2学期制を採用している学校(大学など)における「学期」を指す言葉です。The first semester starts in September. (最初の学期は9月に始まる)のように使います。①「休暇」は vacation や holiday、②「卒業」は graduation、④「宿題」は homework や assignment がそれぞれ対応する英単語であり、文脈に合いません。

◆補足：semester の語源は、ラテン語で「6」を意味する sex と「月」を意味する mensis を組み合わせた semestris (6ヶ月の)という言葉に由来します。これが1年の半分を指す「学期」という意味で使われるようになりました。なお、イギリスの大学や3学期制の学校では、学期を term と呼ぶのが一般的です。文脈によって semester と term が使い分けられることを覚えておくと良いでしょう。

---

11.

**解答** ④

**【解説】**

正解は④instantly です。この副詞は、何かが「即座に、直ちに」起こることを示し、`immediately` とほぼ同じ意味で使われます。When she saw the message, she instantly knew something was wrong. (そのメッセージを見たとき、彼女は即座に何かがおかしいとわかった)。①constantly は「絶えず」、②frequently は「頻繁に」、③recently は「最近」という意味です。

◆補足：instantly は形容詞 instant（即座の）の副詞形です。instant noodles（インスタントラーメン）や instant coffee（インスタントコーヒー）の「インスタント」は、「お湯を注げばすぐにできる」という意味でこの単語が使われています。as soon as と似た意味を表す接続詞としても機能することがあります。

---

12.

解答 ④

【解説】

英語表現「to one's surprise」は、「(人) が驚いたことに」という意味です。予期せぬ出来事が起こったときの話し手の感情を表す副詞句で、文頭や文末で使われます。one's の部分には my, his, her などの所有格が入ります。例えば、「驚いたことに、彼は試験に合格した」は To my surprise, he passed the exam. と表現します。選択肢①「喜んだことに」は to one's joy、②「残念なことに」は to one's regret、③「安心したことに」は to one's relief となります。

◆補足：この "to one's 感情名詞" の形は、話し手の感情を簡潔に表現するのに便利なイディオムです。surprise（驚き）の部分で、delight（大喜び）、disappointment（失望）、annoyance（いらだち）など様々な感情を表す名詞に入れ替えることで、多様な表現が可能になります。

---

13.

解答 ④

【解説】

「～を編集する」という意味に最も近い英単語は④の edit です。文章、映像、音声などの素材を、修正したり、不要な部分を削ったり、順序を入れ替えたりして、発表できる形に整えることを指します。例えば、「この報告書を編集する」のように使います。他の選択肢について、① exit は「出口」、② elect は「～を選挙で選ぶ」、③ educate は「～を教育する」という意味です。

◆補足：edit の名詞形には editor（編集者）と edition（版）があります。a revised edition（改訂版）のように使われます。

---

14.

解答 ③

【解説】

正解は③false です。この形容詞は、情報や考えが真実ではない、「誤った、偽りの」状態を表します。a false statement（虚偽の陳述）のように使います。対義語は true（真実の）です。①formal は「正式な」、②former は「以前の」、④final は「最終の」という意味です。

◆補足：false は、a false alarm（誤報）や false teeth（入れ歯）のように、本物ではない「偽の」という意味でも使われます。名詞形は falsehood（うそ）です。

---

15.

**解答** ①

**【解説】**

正解は①「～を悟る、はっきりと理解する」です。realize は、それまで気づいていなかった事実にはッと気づいたり、状況を明確に認識したりすることを意味します。He didn't realize his mistake until it was too late. (手遅れになるまで、彼は自分の間違いに気づかなかった) のように使います。②「～を無視する」は ignore、③「～を練習する」は practice、④「～を断る」は refuse や decline が対応します。

◆補足：realize の最も重要な意味は「気づく、理解する」ですが、She finally realized her dream of becoming a doctor. (彼女はついに医者になるという夢を実現した) のように、「(夢などを) 実現する」という意味でも使われます。文脈によってどちらの意味か判断する必要があります。類義語の notice は、目で見ると、耳で聞くなど五感を通して何かに「気づく」というニュアンスが強いのにに対し、realize は頭で考えて状況を「理解する、悟る」という知的なプロセスを表すという違いがあります。

---

16.

**解答** ③

**【解説】**

「～するのに苦労する」という意味に最も近い英語表現は③の have trouble doing です。何かを行う上で困難を経験することを表します。例えば、「私は新しい環境に慣れるのに苦労した」は I had trouble getting used to the new environment. と表現します。他の選択肢について、① have fun doing は「～して楽しむ」、② succeed in doing は「～することに成功する」、④ give up doing は「～することをあきらめる」という意味です。

◆補足：この構文では、動名詞の前の前置詞 in が省略されるのが一般的です。trouble は不可算名詞として扱われます。同様の表現に have difficulty (in) doing があり、ほぼ同じ意味で使われます。

---

17.

**解答** ③

**【解説】**

正解は③の manage to do です。この表現は、困難や障害があつたにもかかわらず、「どうにかこうにか～し遂げる」「何とか～することができる」という、努力の末の成功を表します。The team managed to win the game in the last minute. (そのチームは土壇場で何とか試合に勝つことができた) のように使います。① fail to do は「～し損なう、～できない」という逆の意味、② offer to do は「～しようと申し出る」、④ pretend to do は「～するふりをする」という意味で、文脈に合いません。

◆補足：manage to do は、単に「できた」という事実だけでなく、そこに「困難が伴った」というニュアンスが含まれるのが特徴です。類義表現の be able to do が単に能力や可能性として「できる」ことを示すのに対し、manage to do は「苦勞したけれど、やった」という達成感を強調します。例えば、I was able to solve the problem. は「その問題を解くことができた（能力があった）」、I managed to solve the problem. は「（難しかったが）何とかその問題を解くことができた」という違いがあります。

---

18.

解答 ①

【解説】

正解は①「残り物」です。leftover は、主に食事の食べ残しや、パーティーなどで余った料理を指す際に使われる名詞です。形容詞としても使うことができ、その場合は leftover food（残り物の食べ物）のように後ろに名詞を伴います。leave（～を残す）と over（～の上に、余って）が組み合わさった単語だと考えると意味を推測しやすいでしょう。②「忘れ物」は a lost item、③「お土産」は a souvenir、④「試作品」は a prototype がそれぞれ適切な英語表現です。

◆補足：leftover は複数形の leftovers として使われることが非常に多いです。例: I had leftovers for lunch.（昼食に残り物を食べた）。類義語として remains がありますが、こちらはより広範な「残り、遺跡、遺体」などを指し、特に食事の残り物に対しては leftovers を使うのが一般的です。remains of the meal のように言うことは可能ですが、日常会話では leftovers が好まれます。

---

19.

解答 ①

【解説】

正解は①urban です。この形容詞は「都市の、都会の」という意味で、都市の生活、問題、計画などについて述べる際に使われます。urban life（都市生活）や urban development（都市開発）など。

②rural は「田舎の」で、urban の対義語です。③local は「その土地の」、④global は「地球規模の」という意味です。

◆補足：urban の語源は、ラテン語で「都市」を意味する urbs です。suburb（郊外）は、sub-（下の、近くの）と urbs が組み合わさった言葉です。

---

20.

解答 ④

【解説】

正解は④distribute です。この動詞は、食料、情報、商品などを多くの人々や場所へ「分配する、配布する、流通させる」ことを意味します。The organization distributed food to the needy.（その組織は

困窮している人々に食料を配布した)。①contribute は「貢献する」、②describe は「～を描写する」、③destroy は「～を破壊する」という意味です。

◆補足：distribute の名詞形は distribution（分配、流通）です。語源はラテン語の dis-（離れて）と tribuere（与える）に由来し、「分けて与える」というのが元の意味です。contribute は con-（共に）がつくため「共に与える→貢献する」となり、対比して覚えると効果的です。hand out も「配布する」という意味の句動詞ですが、distributeの方がより広範囲に、計画的に配布するニュアンスがあり、フォーマルな響きを持ちます。

---

21.

**解答** ③

【解説】

「陸軍」という意味に最も近い英単語は③の army です。国の軍事力のうち、陸上で戦闘を行う部隊を指します。他の選択肢について、①navy は「海軍」、②air force は「空軍」で、これらは軍隊の異なる部門です。④ally は「同盟国」を意味します。

◆補足：army は、比喩的に「大群」という意味でも使われます（例：an army of ants アリの大群）。軍隊全体を指す場合は the military や the armed forces といった言葉が使われます。

---

22.

**解答** ①

【解説】

「（～から）回復する」という意味に最も近い英単語は①の recover です。病気や怪我、あるいは悪い状況から、元の良い状態に戻ることを指します。recover from ～ の形で使われることが多いです。他の選択肢について、②discover は「～を発見する」、③cover は「～を覆う」、④remove は「～を取り除く」という意味です。

◆補足：recover の名詞形は recovery（回復）です。また、失われたり盗まれたりしたものを取り戻す、という意味でも使われます。語源はラテン語の re-（再び）+ capere（つかむ）に由来し、「再びつかむ」というイメージが「回復する、取り戻す」という意味につながっています。

---

23.

**解答** ④

【解説】

正解は④continent です。この単語は、地球の主要な大陸（アジア、アフリカ、北アメリカ、南アメリカ、南極、ヨーロッパ、オーストラリア）を指します。①country は「国」、②county は「(米国の) 郡」、③content は「中身、内容」という意味です。



◆補足：continent の形容詞形は **continental** で、「大陸の」を意味します。a continental breakfast は、パンとコーヒーなどの簡単な「(ヨーロッパ) 大陸風の朝食」を指します。

---

24.

**解答** ③

【解説】

「目撃者」という意味に最も近い英単語は③の **witness** です。犯罪や事故などの出来事を、その場で実際に見た人を指します。例えば、「その事故には目撃者がいなかった」のように使います。他の選択肢について、① **weakness** は「弱さ」、② **wilderness** は「荒野」、④ **witch** は「魔女」を意味します。

◆補足：**witness** は動詞としても使われ、「～を目撃する」という意味になります。**an eyewitness** は、より具体的に「その目で見た証人」というニュアンスを強調します。

---

25.

**解答** ②

【解説】

英単語「**schoolchild**」は、「学童、児童」という意味の名詞です。学校に通う子供を指し、特に小学生を指すことが多いです。複数形は **schoolchildren** となります。例えば、「学童の安全」は **the safety of schoolchildren** と表現します。選択肢①「学友」は **schoolmate**、③「教師」は **schoolteacher**、④「教科書」は **schoolbook** や **textbook** です。

◆補足：**schoolchild** は、**school**（学校）と **child**（子供）が組み合わさった複合名詞です。

---

26.

**解答** ③

【解説】

正解は③**oppose** です。この動詞は、計画、法律、意見などに同意せず、積極的に「反対する」ことを意味します。**Many people opposed the plan.**（多くの人々がその計画に反対した）。①**suppose** は「～だと思う、仮定する」、②**propose** は「～を提案する」、④**expose** は「～をさらす」という意味で、いずれも **oppose** と形が似ているので注意が必要です。

◆補足：**oppose** の語源は、ラテン語の **ob-**（反対して）と **ponere**（置く）で、「反対の場所に置く」というのが元の意味です。名詞形は **opposition**（反対、対立）、形容詞形は **opposite**（反対の）です。受動態の **be opposed to** ～（～に反対している）という形も非常によく使われます。

---

27.

## 解答 ④

### 【解説】

英単語「original」は、「独創的な」と「元の」という二つの主要な意味を持つ形容詞です。①今までになかった新しい、創造性に富んだ様子 (an original idea)、②あるプロセスの最初の段階に存在した様子 (the original plan) の両方を表します。選択肢①「普通の」は ordinary、②「地域的な」は regional、③「公式の」は official です。

◆補足：original の名詞形は origin (起源)、動詞形は originate (～に由来する、始まる) です。文脈に応じて「独創的な」なのか「元の」なのかを判断することが重要です。

---

28.

## 解答 ③

### 【解説】

正解は③の depend on ~です。この句動詞には大きく二つの意味がありますが、一つが「～に頼る、依存する」、もう一つが「～によって決まる、～次第である」です。問題の「～次第である」は後者の意味です。Our plan will depend on the weather. (私たちの計画は天気次第になるだろう) のように使います。① consist of ~は「～から成る」、② prepare for ~は「～の準備をする」、④ agree with ~は「～に賛成する、同意する」という意味です。

◆補足：depend on ~の二つの意味、「頼る」と「～次第だ」は密接に関連しています。A が B に「頼っている」ということは、A の状況が B に「よって決まる」と言い換えられますね。会話では、"Are you coming to the party?" (パーティーに来る?) と聞かれて "It depends." (場合によるね) と一言で返すこともよくあります。これは It depends on the situation. (状況次第だ) を省略した形です。関連語として、名詞の dependence (依存)、形容詞の dependent (依存した) も重要です。

---

29.

## 解答 ③

### 【解説】

「～を取り除く、処分する」という意味に最も近い英語表現は③の get rid of です。不要な物や好ましくない人、状況などを自分の周りからなくすことを表す口語的な表現です。例えば、「古い家具を処分する必要がある」のように使います。他の選択肢について、① get along with は「～と仲良くやる」、② get over は「～を乗り越える、克服する」、④ get used to は「～に慣れる」という意味の熟語です。

◆補足：類義語の remove は get rid of よりもフォーマルな表現です。eliminate は「完全に排除する、根絶する」という、さらに強い意味を持ちます。rid はもともと「取り除く」という意味の動詞で、get を伴うことで「～を取り除かれた状態を得る」→「～を取り除く」という意味になります。

---

30.

**解答** ③

**【解説】**

「～に（必要な物を）備え付ける」という意味に最も近い英単語は③の **equip** です。人や場所に、特定の目的のために必要となる道具や装置、知識などを提供することを指します。**be equipped with** ～の形で「～が備わっている」と受け身で使われることが非常に多いです。他の選択肢について、① **escape** は「逃げる」、② **enquire** は「尋ねる」、④ **esteem** は「～を尊敬する」という意味です。

◆**補足**：**equip** の名詞形は **equipment** で、「設備、機材、備品」を意味します。注意点として、**equipment** は不可算名詞なので、複数形にはなりません。たくさんの備品を指す場合でも、**some equipment** や **a piece of equipment** のように表現します。

---

31.

**解答** ①

**【解説】**

正解は①の **fame** です。**fame** は、多くの人々に知られ、話題にされている状態、すなわち「名声、著名」を意味します。**She moved to a small town to escape from her fame.**（彼女は名声から逃れるために、小さな町へ引っ越した）のように使います。② **fortune** は「財産、幸運」、③ **honor** は「名誉、敬意」、④ **pride** は「誇り、プライド」という意味で、いずれも成功に伴うポジティブな概念ですが、意味は異なります。

◆**補足**：**fame** は、形容詞 **famous**（有名な）の名詞形です。この関係性を知っていると覚えやすいでしょう。類義語の **reputation**（評判）は、良いか悪いかという「評価の内容」に焦点があるのに対し、**fame** は、良いか悪いかは別として、単に「広く知られていること」そのものに焦点があります。そのため、**He achieved both fame and fortune.**（彼は名声と富の両方を手に入れた）のように、**fortune**（富）と並べて使われることもよくあります。

---

32.

**解答** ③

**【解説】**

正解は③「～の重さがある、～を量る」です。**weigh** は、物の重さが「～である」という状態を表したり、物の重さを「量る」という行為を表したりします。**How much do you weigh?**（あなたの体重はどのくらいですか？）。①「待つ」は **wait**、②「手を振る」は **wave**、④「浪費する」は **waste** です。

◆**補足**：**weigh** の名詞形は **weight**（重さ、体重）で、スペルが異なる点に注意が必要です。また、比喩的に、選択肢の長所と短所などを「比較検討する、吟味する」という意味でも使われます。**weigh the pros and cons**（長所と短所を比較検討する）。

---

33.

**解答** ①

**【解説】**

正解は①colony です。この単語は、同じ種類の動物や植物と一緒に暮らす「集団、群れ、コロニー」を指します。また、歴史の文脈では、他国によって支配される「植民地」という意味で使われます。a colony of ants (アリのコロニー)。②company は「会社」、③comedy は「喜劇」、④college は「大学」という意味です。

◆補足：colony の動詞形は colonize (～を植民地化する)、形容詞形は colonial (植民地の) です。a penal colony で「流刑地」を意味します。

---

34.

**解答** ②

**【解説】**

正解は②「販売促進」です。promotion は「昇進」と「販売促進」という二つの重要な意味を持つ多義語です。この文脈では、"for its new smartphone" (その新しいスマートフォンのための) とあることから、製品の販売を促す「販売促進、プロモーション活動」を指していることがわかります。①「昇進」も promotion の主要な意味ですが、この文脈には合いません。③「推薦」は recommendation、④「契約」は contract が対応します。

◆補足：promotion の二つの意味は、文脈で判断する必要があります。①「昇進」：He received a promotion to manager. (彼は部長に昇進した)。②「販売促進」：We are running a sales promotion campaign. (私たちは販売促進キャンペーンを行っている)。どちらも英検2級レベルで必須の重要語です。

---

35.

**解答** ②

**【解説】**

「贅沢、高級品」という意味に最も近い英単語は②の luxury です。生活に不可欠ではないが、非常に高価で快適さや喜びを与えてくれるものを指します。例えば、「高級車」は a luxury car と表現します。他の選択肢について、①liberty は「自由」、③legacy は「遺産」、④lecture は「講義」という意味の名詞です。

◆補足：luxury は、不可算名詞として「贅沢」という状態を、可算名詞として「贅沢品」を指します。形容詞形は luxurious /lʌgʻʒʊəriəs/ (豪華な、贅沢な) で、アクセントの位置と発音に注意が必要です。

---

36.

**解答 ④****【解説】**

「親しみやすい、人懐っこい」という意味に最も近い英単語は④の **friendly** です。親切で感じの良い態度を表す形容詞です。例えば、「親しみやすい笑顔」は **a friendly smile** と表現します。他の選択肢はすべて副詞で、① **frequently** は「頻繁に」、② **freely** は「自由に」、③ **firmly** は「堅く、断固として」という意味です。

◆**補足**：**friendly** は、**-ly** で終わる単語ですが、副詞ではなく形容詞である点に注意が必要です。これは、名詞 **friend** に **-ly** が付いているためです。副詞として「親しげに」と言いたい場合は、**in a friendly way** や **in a friendly manner** のように表現します。

---

37.

**解答 ④****【解説】**

正解は④**potential** です。この単語は、現時点ではまだ現れていないが、将来発揮される可能性のある力や性質、すなわち「潜在能力、可能性」を指す不可算名詞です。**She has the potential to be a great leader.**（彼女には偉大な指導者になる潜在能力がある）。①**pottery** は「陶器」、②**poverty** は「貧困」、③**policy** は「政策」という意味です。

◆**補足**：**potential** は形容詞としても「潜在的な、可能性を秘めた」という意味で使われます。**a potential customer**（見込み客）や **a potential danger**（潜在的な危険）など。

---

38.

**解答 ①****【解説】**

「～に感銘を与える」という意味に最も近い英単語は①の **impress** です。誰かに称賛や尊敬の念を抱かせる、良い印象を与えることを指します。例えば、「彼のスピーチは聴衆に感銘を与えた」のように使います。他の選択肢について、② **improve** は「～を改善する」、③ **increase** は「～を増やす」、④ **imply** は「～をほのめかす」という意味です。

◆**補足**：**impress** は、受け身の **be impressed with/by** ～（～に感銘を受ける）の形で使われることが非常に多いです。名詞形は **impression**（印象）、形容詞形は **impressive**（印象的な）です。

---

39.

**解答 ④****【解説】**

「～だと強く主張する」という意味に最も近い英単語は④の **insist** です。他の人が反対したり信じなかったりする中で、ある事柄が事実である、または行われるべきだと断固として言い張ることを指します。insist on ～ や insist that ... の形で使われます。他の選択肢について、① consist (of) は「(～から) 成る」、② resist は「～に抵抗する」、③ assist は「～を助ける」という意味です。

◆補足：insist の語源は、ラテン語の in- (上に) + sistere (立つ) で、自分の意見の上に「しっかりと立つ」というイメージが「主張する」という意味につながっています。名詞形は **insistence** (主張)、形容詞形は **insistent** (しつこい、強要する) です。

---

40.

**解答** ③

【解説】

正解は③「給料」です。pay は、動詞として「支払う」という意味が最も有名ですが、名詞としては、仕事に対して支払われる「給料、賃金」を意味します。He is asking his boss for a pay raise. (彼は上司に昇給を求めている) のように使います。①「料金」は fee や charge、②「費用」は cost、④「支払い」は payment が対応する単語です。

◆補足：「給料」を意味する単語には、pay の他に salary (月給・年俸) や wage (時給・週給) があります。pay はこれらを総称する、最も一般的な言葉です。また、動詞としての pay も pay attention (注意を払う) や pay a visit (訪問する) など、お金以外のものを「支払う・払う」という比喩的な使い方でも多くの熟語を作ります。

---

41.

**解答** ③

【解説】

正解は③「～を引き受ける」です。take on ～は、仕事、責任、挑戦などを「引き受ける」という意味で使われます。この例文は「彼はマラソンを走るという挑戦を引き受けることに決めた」という意味です。①「～を雇う」や②「(様相を) 帯びる」も take on ～の意味ですが、この文脈には合いません。④「～を試す」は try out ～などです。

◆補足：take on ～の多義性を整理しましょう。①(仕事・責任などを) 引き受ける: take on a new project. ②(人) を雇う: take on new staff. ③(性質・様相などを) 帯びる: The situation took on a serious aspect. ④(強敵) と対戦する: take on the champion. 文脈に応じた意味の判断が重要です。

---

42.

**解答** ①

【解説】

「身元、正体」という意味に最も近い英単語は①の **identity** です。ある人が誰であるかということ、またはその人たらしめる固有の性質を指します。例えば、「身分証明書」は **an identity card (ID card)** と表現します。他の選択肢について、② **idea** は「考え」、③ **ideal** は「理想」、④ **idiom** は「慣用語」です。

◆補足：**identity** の動詞形は **identify**（～を特定する、～と同一であると見なす）です。**identity crisis**（アイデンティティの危機）のように、心理学や社会学の文脈でも使われる重要な単語です。

---

43.

解答 ③

【解説】

英単語「**institute**」は、名詞として「研究所、協会、学会」といった、特定の目的（特に研究や教育）を持つ組織を指します。例えば、「がん研究所」は **a cancer institute** と表現します。選択肢①「態度」は **attitude**、②「代役、代用品」は **substitute**、④「才能、適性」は **aptitude** であり、意味が異なります。

◆補足：**institute** は動詞としても使われ、その場合は「（制度や法律などを）設ける、制定する」という、やや硬い意味になります。名詞形は **institution** で、「機関、施設、制度、しきたり」など、より広い意味で使われます。例えば、大学や病院、結婚制度なども **institution** と呼ばれます。語源はラテン語の **in-**（中に）＋**statuere**（建てる、置く）で、「内部に設立するもの」というのが核となるイメージです。

---

44.

解答 ③

【解説】

正解は③**fare** です。**fare** は、公共交通機関を利用する際に支払う「運賃、料金」を指します。**bus fare**（バスの運賃）や **train fare**（電車の運賃）のように使います。①**fee** は、専門家への報酬やサービスの「手数料、料金」を意味します。②**fine** は「罰金」です。④**toll** は、高速道路や橋などの「通行料金」を指します。

◆補足：**fare** という単語は、古英語で「旅、道のり」を意味する言葉に由来します。そこから「旅にかかる費用」→「運賃」という意味に発展しました。**How much is the fare to the airport?**（空港までの運賃はいくらですか？）という形でよく使われます。

---

45.

解答 ②

【解説】

正解は②「割合、率」です。rate は、ある数量が別の数量に対して持つ「割合、比率」や、物事が起こる「率」を意味します。例文の unemployment rate は「失業率」です。①「速度」は speed、②「料金」は charge や fee、④「評価」は rating や evaluation がより一般的です。これらも rate が持つ意味の一部ですが、文脈から「率」が最も適切です。

◆補足：rate は多義語で、①割合、率 (birth rate 出生率)、②速度 (at a slow rate 遅いペースで)、③料金 (hotel rates ホテル料金)、④評価 (first-rate 一流の) など多くの意味があります。動詞としても「～を評価する」という意味で使われます。

---

46.

**解答** ①

【解説】

正解は①「動揺している」です。upset は、悲しみ、怒り、心配などによって心が乱れ、「動揺している、気分を害している」状態を表す形容詞です。He was upset because he failed the test. (彼は試験に落ちたので、動揺していた) のように使います。②「喜んでいる」は happy や pleased、③「疲れている」は tired、④「落ち着いている」は calm が対応する単語で、calm は upset の対義語に近い言葉です。

◆補足：upset は、形容詞だけでなく、「～を動揺させる、ひっくり返す」という意味の動詞としても使われます。The bad news deeply upset her. (その悪い知らせは彼女をひどく動揺させた)。また、スポーツの文脈では「番狂わせ」という意味の名詞としても使われます。The small team caused a major upset by defeating the champions. (その小さなチームはチャンピオンを破るという大番狂わせを起こした)。

---

47.

**解答** ②

【解説】

正解は②project です。project は、学校の課題や会社の事業など、決められた期間内に特定の目的を達成するために慎重に計画された活動を指します。a school project (学校の研究課題) や a construction project (建設事業) のように使います。①process は「過程、工程」、③product は「製品」、④prospect は「見込み、展望」という意味で、それぞれ異なります。

◆補足：project は、名詞の場合は最初の音節に (プロ)、動詞の場合は後の音節に (ジェクト) アクセントが置かれることが多いです。動詞の project には「～を予測する、見積もる」や「～を映し出す」といった重要な意味があります。Sales are projected to increase. (売上は増加すると予測されている)。名詞と動詞で意味と発音が異なる多義語として注意が必要です。

---

48.

**解答** ②



【解説】

「～以内に」という意味に最も近い英単語は②の **within** です。ある期間や範囲の内側にあることを示す前置詞です。例えば、「3 日以内に」は **within three days**、「徒歩圏内に」は **within walking distance** と表現します。他の選択肢について、① **without** は「～なしに」、③ **toward** は「～の方へ」、④ **throughout** は「～の至る所に」という意味です。

◆補足：in と within の違いに注意が必要です。in three days は「3 日後に」、within three days は「3 日経たないうちに」という差があります。

---

49.

解答 ③

【解説】

「一般的に」という意味に最も近い英語表現は③の **in general** です。これは「概して」「全体的に見て」という意味で、特定の例外を除いた全体的な傾向を述べるときに使われます。例えば、「一般的に、この地域の気候は温暖です」は **In general, the climate in this area is mild.** のように用います。① **in detail** は「詳細に」、② **in advance** は「前もって」、④ **in particular** は「特に」という意味です。

◆補足：in general は、generally という副詞一語で言い換えることも可能です。類義表現として on the whole や as a rule などもあります。対義語である in particular（特に）とセットで覚えておくと、話の展開をスムーズにする上で役立ちます。

---

50.

解答 ①

【解説】

正解は①**argue** です。この動詞は、誰かと意見が合わずに「口論する、言い争う」ことを意味します。**argue with someone about something** の形で使われることが多いです。また、理由を示して自説を「論じる、主張する」という意味もあります。②**agree** は「同意する」で、**argue** の対義語にあたります。③**ignore** は「～を無視する」、④**praise** は「～を褒める」という意味です。

◆補足：argue の名詞形は **argument** で、「口論」と「議論、主張」の両方の意味を持ちます。類義語の **discuss** は、問題解決のために冷静に「話し合う」というニュアンスで、怒りの感情は含みません。**quarrel** は **argue** と似ていますが、より感情的で個人的な「口げんか」を指すことが多いです。

---